

松本城の四季

松本城とその周辺の庭園の美しさは、一年を通して変化する。春は内堀に桜が咲き乱れ、夏は城が鮮やかな緑に包まれる。秋は堀の木々が色づき、冬は黒くそびえる天守閣と雪をかぶった北アルプスのコントラストが美しい。堀には鯉や白鳥、鴨などが生息する。季節によっては宝石をちりばめたような色合いのカワセミや、黄色い目をした斑点のある茶色のフクロウ、キタテハなど、珍しい鳥も見ることができる。目を凝らすと、オレンジ色の羽を持つキタテハに出会えるかもしれない。

また、季節ごとに松本の伝統文化にちなんだイベントや祭りが開催される。

春

桜の季節には、お城と桜並木がライトアップされ、堀や散策路に幻想的な雰囲気漂います。春の終わりには、いけばな展や江戸時代（1603-1867）の砲術演武などの伝統芸能や技術の展示も行われる。

夏

夏には、太鼓祭りや薪能など、季節の行事が行われる。8月には、浴衣を着ていれば無料で入場できる期間も設けられている。

秋

秋には、そばの収穫を祝う「そば祭り」や、城内各所で歴史の再現が行われる。11月10日の「松本城の日」までの1週間は、特別展示やイベントが行われる。

冬

冬になると、城門をしめ縄で飾り、前年のほごりを落とす、すす払いの大掃除が行われる。元旦には、春を迎えるために城内が特別に開放される。この期間は、城を訪れる人が最も多い時期の一つである。